

令和3年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：37507

学校名：札幌市立新陵中学校

プログラム改定のポイント

- ◎運動・スポーツの興味・関心を高め、日常的に継続して運動に親しむ生徒の育成
- ◎心身の保持増進について、自ら考え行動する態度の育成
- ◎体育・保健の教科指導におけるICTを活用した取組の推進

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆生涯を通じて運動を親しむことができる体力・技能・知識を身に付けた生徒 ☆心身の健康の保持増進を図り、自ら考えて行動しようとする生徒		
「健やかな体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○教科指導における巧緻性・柔軟性・瞬発力を高める取組 ○運動部活動と連携を深めた工夫と実践 ○体育的行事の実践と昼休み時間の有効活用	【成果】 ⇒教科指導において、柔軟性や筋力向上のための取組を継続的に行うことができた。 ⇒体育授業でクロスカントリースキーを実施し、体力向上のために活動することができた。 ⇒体育館・グラウンドの使用に加え、芝生も開放し使用できる学年を増やすことができた。 ⇒学年体育大会では、全員が活動できる内容を考え運動に参加することができた。	【課題】 □積極的に運動に親しむ生徒が多く、体育の授業も一生懸命に取り組む生徒が多い。運動をする機会が少ない生徒も十分に取組めるように運動時間と道具の確保を行い、体育授業の充実を図る。 □生徒が興味関心をもって継続して運動に親しむことができる体育実技授業の工夫。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○食事習慣の大切さを理解し、朝夕食及び給食のバランスよい摂取を心掛ける ○精神的なケアをしっかりと行い、心身ともに調和のとれた生徒の育成 ○生徒の健康状態を常に把握して、不安を抱えた生徒の早期発見・早期対応に努める	【成果】 ⇒保健教科や栄養教諭による食に関する指導において、中学生にとって適切な食生活や、バランスの良い食事摂取について様々な機会や方法で発信した。また、給食だよりや食生活調査結果などを通して家庭へ啓発した。 ⇒保健の教科と道徳授業を通して、「性に関する指導を含めた命を大切にす保健教育の充実。	【課題】 □コロナ禍で、家で過ごす時間が増え、自らの健康や周囲との関わりについて考える機会が増えたが、休校や自粛により生活リズムが乱れ、睡眠時間が減少した生徒が多い。精神的・身体的に疲労が見られ、保健室への来室も精神的ストレスを抱える生徒が多かった。保健教科の教科指導の充実や養護教諭との連携に加え、学校として生徒の心身の健康について指導の充実を図る。
改善策（取組） 今年度の具体的な	取組の最重点	A 運動・スポーツへの関心を高める指導と、日常的に運動に親しめる取組の推進、体力向上への取組		
	A 体育に関する指導の充実	○体育授業の充実（運動の質と量、準備運動の工夫、個に応じた指導、運動をする楽しさと、技能の「できる」「できた」「できそう」の成就感を与える体育実技授業の工夫） ○ICTを活用した授業の展開 ○体育的行事の実践と昼休み時間の有効活用（3F多目的室・ホールの活用）を行い日常的に運動が親しむことができるようにする		
	B 健康に関する指導の充実	○睡眠や食事習慣の大切さを理解し、日常生活のリズムを整え健康的に生活できるよう指導を行う。 ○「食育の推進」「生命・性に関する指導」「いのちを大切にす健康教育」の充実。助産師やSC、養護教諭による講演会の実施。 ○ICTを活用した保健に関する実データの利用。		
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		